

ソフトウェアインストール①

【管理者アカウントでログインする】

「ユーザー管理」の「ユーザー設定」から、インストールしたいユーザーの「編集」をクリックします。



【一般ユーザーアカウントでログインする】

ログインユーザーのユーザー設定・編集画面が表示されます。



管理画面URL

<https://xxxxx.securesamba.com/sambaweb/>

※「xxx」部分は会社様によって異なります。

- ① 編集画面 下部にある「Windows版ダウンロード」ボタンをクリックします。



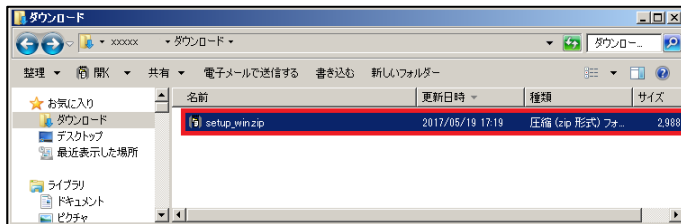
- ② ファイルを任意の場所に保存します。



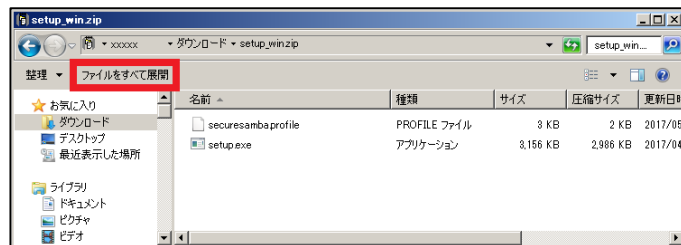
ソフトウェアインストール②

③ 保存したzipファイルを開きます。

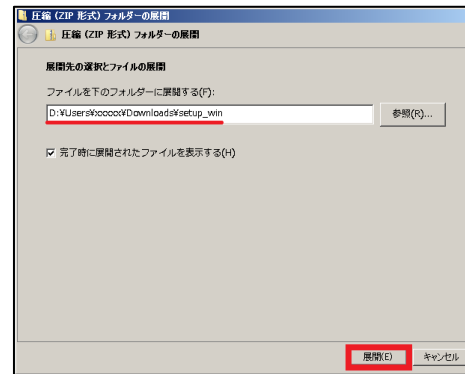
※必ず解凍作業を行ってからインストールしてください



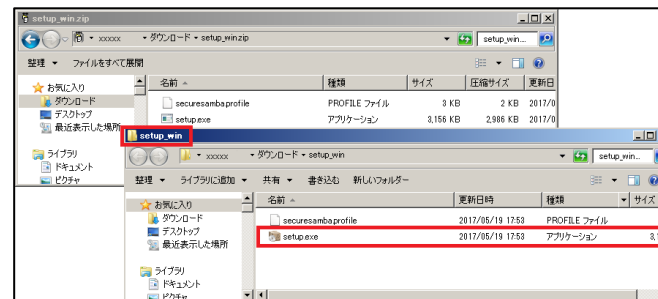
④ 画面左上の「ファイルをすべて展開」ボタンをクリックします。



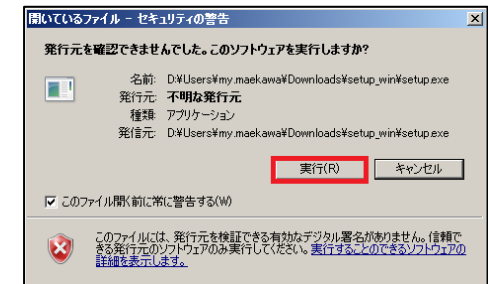
⑤ フォルダの解凍確認画面が出てくるので、解凍フォルダの保存先を確認して「展開」ボタンをクリックします。



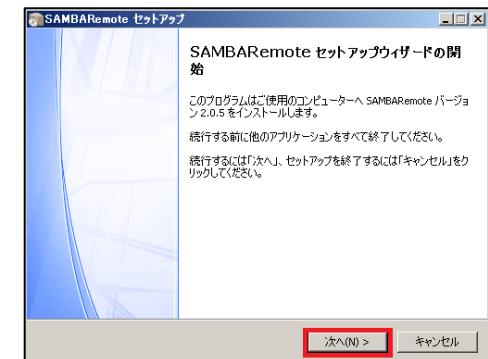
⑥ クリック後、解凍されたフォルダが開かれるので、「setup.exe」ファイルをクリックします。



⑦ 「実行」ボタンをクリックします。

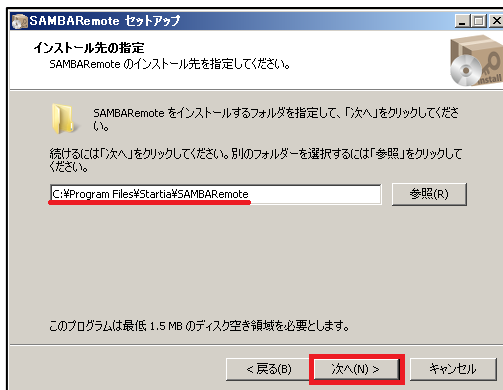


⑧ セットアップ画面が開きます。「次へ」ボタンをクリックします。

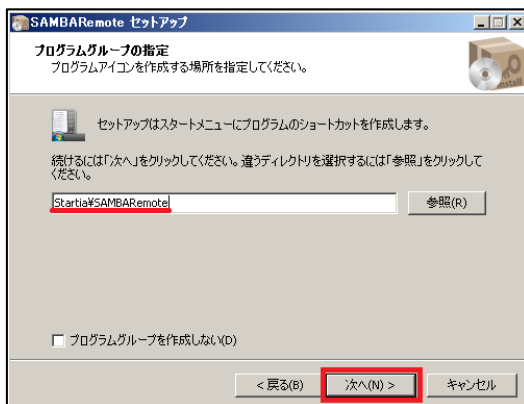


ソフトウェアインストール③

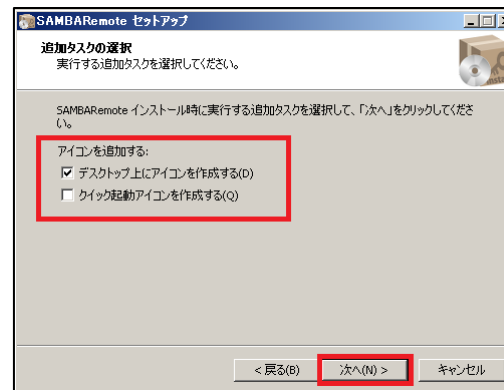
- ⑨ インストール先を確認して、「次へ」ボタンをクリックします。



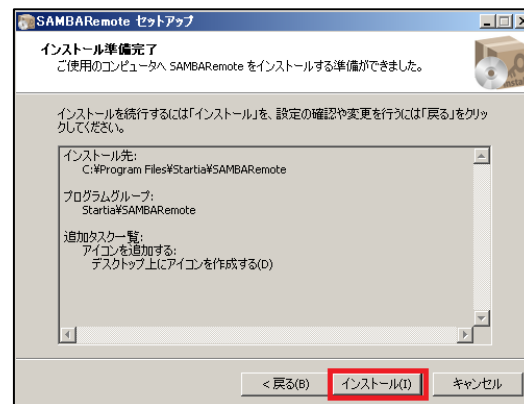
- ⑩ プログラムの設定を確認し、「次へ」ボタンをクリックします。



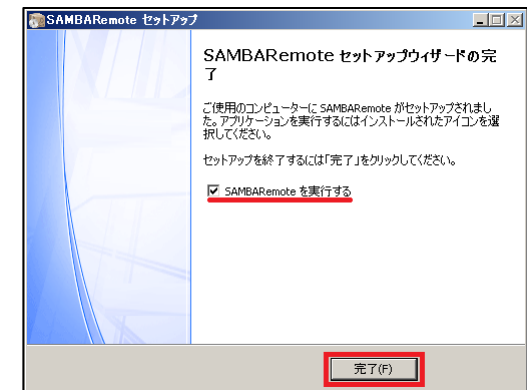
- ⑪ 追加設定を確認し、「次へ」ボタンをクリックします。



- ⑫ 設定を確認し、「インストール」ボタンをクリックします。



- ⑬ インストールが終了し、以下の画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリックします。



※⑬の画面で「SAMBA Remoteを実行する」にチェックを入れていると、接続画面が開きます。

接続

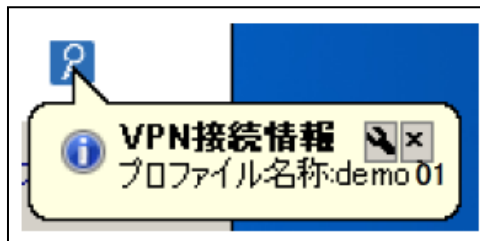
<注意事項>

ネットワークドライブの割り当てには設定しないでください。
サーバに負荷がかかり、動作が遅くなる原因となります。
ネットワークドライブの割り当てにより不具合が発生した場合はサポート対象外となります。
また、上記設定が確認された際は、強制的に解約させていただく場合がございます。

- ① 以下の画面が表示されたら、ダウンロードしたユーザー名(プロフィール名称)が正しいことを確認し、パスワードを入力後「接続」ボタンをクリックします。



- ② 接続されると、右下のタスクバーの通知領域に「VPN接続情報」が表示され、セキュアSAMBAのアイコンが青くなります。



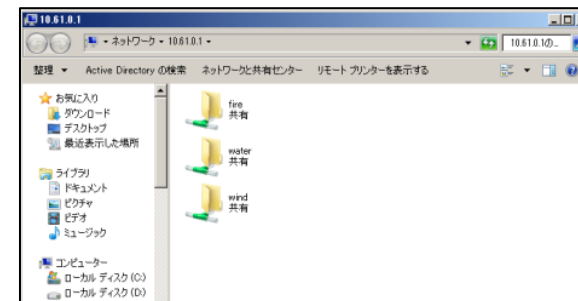
- ③ 管理者に「仮想IPアドレス」を確認します。

- ④ 「スタート」ボタンをクリックし、検索バーに「仮想IPアドレス(¥¥10.XX.X.X)」を入力し「Enter」キーをクリックします。

※赤文字部分に仮想IPが入ります



- ⑤ フォルダが表示され、サーバへのアクセスが完了となります。

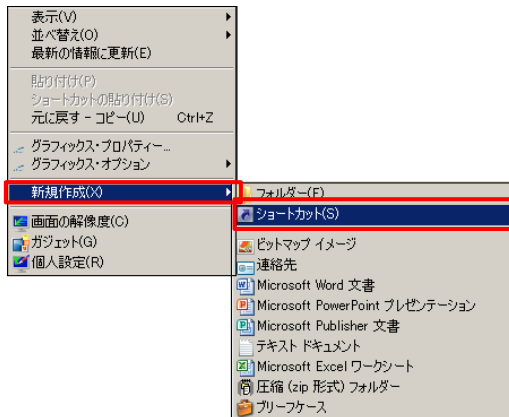


※このフォルダのショートカットを作成しておくこと、次回以降は①-②の後にショートカットクリックでアクセスが可能です！

ショートカットの作成

※必ず「SAMBA Remote」を接続した状態で行ってください。

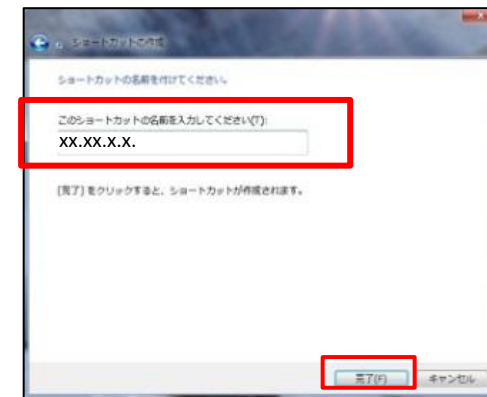
- ① デスクトップ上で「右クリック」-「新規作成」-「ショートカット」ボタンをクリックしてください。



- ② 「仮想IPアドレス(¥¥10.XX.X.X)」を入力し、「次へ」ボタンをクリックします。



- ③ ショートカットの名前を入力後、「完了」ボタンをクリックします。



※仮想IPアドレスは、ご担当者様宛にお送りしている『セキュアSAMBA 開通通知』メールにてご確認くださいませ。

一般ユーザーの方は、管理者ユーザーの方へご確認ください。

グローバルIPアドレス
XXX.XXX.XXX.XXX

ローカルIPアドレス
XXX.XXX.XXX.XXX

仮想IPアドレス
XX.XX.X.X

自動的に接続させる

※自動接続は、PC起動時にSAMBA Remoteを自動で接続させる機能です。
レジャー機能(何らかの理由で接続を中断された場合の自動再接続)はございません。

- ① SAMBA Remoteの起動画面を表示し「プロファイル編集」ボタンをクリックします。

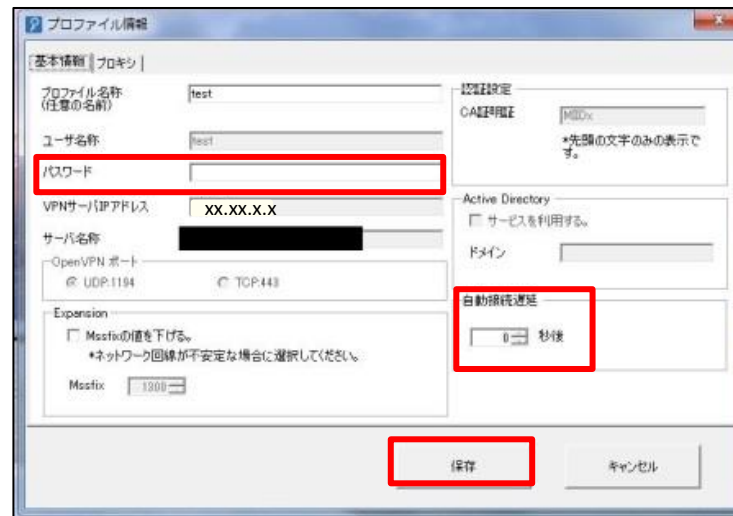


- ② 「編集」ボタンをクリックします。



- ③ 「パスワード」の欄にパスワードを入力してください。終わりましたら、「保存」ボタンをクリックします。

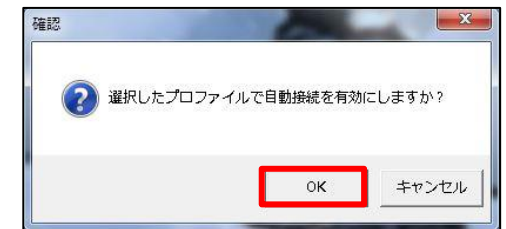
※PCが起動するまで時間を要する場合は、「自動接続遅延」で起動時間以上の秒数を設定して、「保存」をクリックしてください。



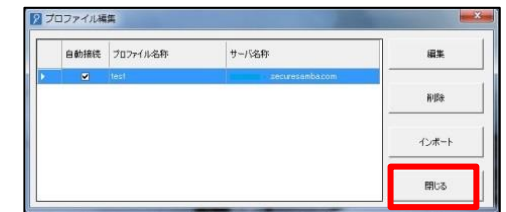
- ④ 「自動接続」にチェックをいれ、「閉じる」ボタンをクリックします。



- ⑤ 「OK」ボタンをクリックします。



- ⑥ 「閉じる」ボタンをクリックします。

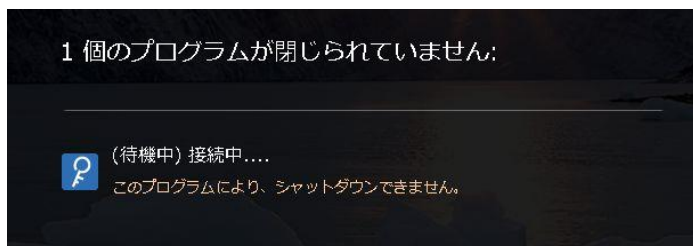


- ⑦ 「パスワード」の欄がロックされ、次回以降パスワードを入力せずに接続できます。



PCシャットダウン時

※パソコンをシャットダウンする際は、必ず「SAMBA Remote」の接続を切断してください。
接続中のままでは、下記の画像が表示され正常にシャットダウンできません。

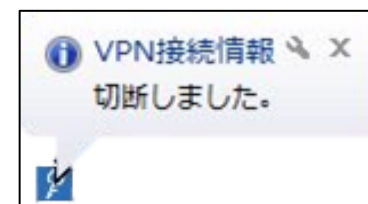


- ① タスクバーの右下にある「SAMBA Remote」のアイコンを右クリックし、「終了」ボタンを選択してください。



- ② しばらくすると、右下のタスクバーの通知領域に「VPN接続情報 切断しました。」と表示されます。

これで、パソコンを正常にシャット
ダウンすることができるようになります。



※接続が不安定なとき

①

SAMBA Remoteの起動画面を表示し「プロフィール編集」ボタンをクリックします。



②

「編集」ボタンをクリックします。



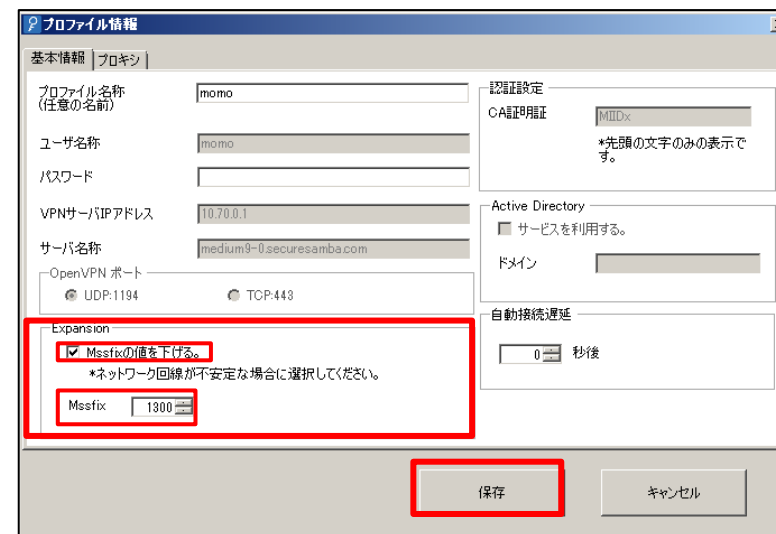
③

『Expansion』の中の「Mssfix※の値を下げる。」にチェックをいれます。

「1300」が初期設定値となっております。
最適値はお客様のネットワーク環境によって異なりますので、
値を10ずつ下げて確認を行ってください。

※Mssfixとは……

一回でおくるパケットのサイズになります。値を下げれば下げる程、パケットが分割されます。利用することで、不安定さを解消できる場合があります。



④

調整後、「保存」をクリックして、通常接続してください。